

新内科学大系

主要症候 IIb



新内科学大系

2 B

主要症候 IIb

國商 土 土 味 飯 東 山 龜
大 大 大 大 大 大 大 大
商 商 商 商 商 商 商 商
號 號 號 號 號 號 號 號

山形	東北大學教授 慶大教授	三田	九大教授	黑岩	東大教授	織田	阪大教授	山村
雄一	敏次	義五郎	謙	敵一	喜久和			

〈監修〉



中山書店

新内科学大系

全60巻

<目録録>巻B

1976年1月20日 第1刷発行

検省省略

新内科学大系 (全60巻)

Handbook of Internal Medicine

(Shin-Naikagaku Taikēi)

第2巻B《主要症候IIb》 ©

監修

吉 利 和
中 尾 久
山 形 喜
三 辺 敏
黒 岩 義
織 田 敏
山 村 雄
中 山 三 郎 平

発行

発行所

株式会社

中山書店

【製作】 株式会社中山・新内科学大系刊行部

東京都文京区本郷3の14の10(泰生ビル)

TEL. 813-1101 (代表) 郵便番号113

【販売】 東京都文京区本郷3の6の12(太平ビル)

TEL. 815-3511 (代表) 郵便番号113

【取引】 東京都千代田区神保町2の24

TEL. 263-5511 振替東京196565 郵便番号101

印刷/凸版印刷株式会社 製本/松岳社青木製本所

用紙/三菱製紙株式会社 表紙/ダイニク株式会社

3347-212901-5612

系大学林内藤



主 要 著 者

東女医大教授 鎮目和
山形大教授 石川
東大講師 鈴木秀
東大助教授 和田
慶大助教授 土屋雅
愛媛大教授 国府達
郎

山竹 誠 夫 郎 攻 春 郎
山竹 誠 夫 郎 攻 春 郎
山竹 誠 夫 郎 攻 春 郎
山竹 誠 夫 郎 攻 春 郎
山竹 誠 夫 郎 攻 春 郎

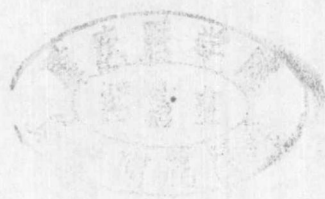
《 著 者 》



中 山 書 局

尾	阿	高	脇	山	真	堀	豐	小	村	滝	中	白	村
前	部	安	坂	田	下	内	倉	坂	尾	島	村	石	尾
照		正	行	弘	啓	淑	康	樹				忠	
雄	裕	夫	一	三	明	彦	夫	德	覚	任	隆	雄	誠

〈監修協力〉



德臣晴比古	高岡善人	小坂淳夫	木下康民	武内重五郎	增田正典	日比野進	上田泰	和田武雄
熊大教授	長大教授	岡大学長	新大教授	東医歯大教授	京府医大教授	国立名古屋病院院長	名大名誉教授	札幌医大教授

〈顧問〉

主要症候

学士院会員
東北大名譽教授
黒川利雄
學士院會員
東大名譽教授
冲中重雄
關東勞務病院名譽院長
田坂定孝
名城病院長
青山進午
京大名譽教授
國立京都病院名譽院長
三宅儀
阪大名譽教授
國立大阪病院長
吉田常雄
九大名譽教授
宮崎醫大學長
勝木司馬之助

〈名譽顧問〉

著者

前	宣	福	久	對馬大醫院	羽	新	神	國	對馬大醫院
田	英	伊	調	對馬大醫院	金	計	貝	縣	和歌山大醫院
一	番	田	古	人海部 東京府 海防部 東京府	足	部	田	古	和歌山大醫院
志	新	岡	岡	對馬大醫院	香	部	星	士	對馬大醫院
頭	太	綱	田	對馬大醫院	大	塚	田	綱	對馬大醫院
社	前	林	中	和歌山大醫院	忠	台	河	和歌山大醫院	
藤	世	宮	宮	對馬大醫院	道	藏	口	常	和歌山大醫院
矢	村	本	強	和歌山大醫院	一	柳	藤	城	和歌山大醫院
矢	表	寶	孝	和歌山大醫院	大	英	原	宮	和歌山大醫院
(編輯者)					大	丸	塚	岡	和歌山大醫院

第2卷B

主要症候 IIb

著者

愛媛大教授	国府達郎	東海大教授	桑原安治
慈大講師	磯貝行秀	神大教授	馬場茂明
神大講師	佐古田雅弘	埼玉県立がん センター・病院長	吉田清一
慶大助教授	土屋雅春	熊大助教授	岡嶋透
東大教授	織田敏次	東大内科	戸田剛太郎
自治医大教授	河合忠	慶大講師	中村治雄
東大阪市立中央 病院長	溝口輝彦	和医大教授	宮村敬
慶大助教授	加藤暎一	慶大内科	野本保夫
北里大講師	宮原英夫	名古屋保健 衛生大教授	牧野秀夫
東大講師	開原成允		(執筆順)

目 次

I. 一般臨床検査による異常所見

A. 血圧異常	国府達郎	3
1. 血圧（動脈圧）とは		3
2. 血圧を規定する因子		3
3. 高血圧		4
a. 定 義		4
b. 病因，病態生理		4
c. 高血圧の診断および検査のすすめかた		15
4. 低血圧症		22
a. 定義，分類		22
b. 病因，病態生理		23
c. 診 断		24
B. 眼底異常	桑原安治	27
1. 乳頭異常		27
a. うっ血乳頭		27
b. 視神経炎		28
c. 視神経萎縮		28
2. 血管異常		28
a. 脳血管と網膜血管との関連		28
b. 高血圧症		29
c. 糖尿病性網膜症		31
3. 出 血		32
a. 網膜中心静脈血栓症		32
b. 網膜中心静脈枝血栓症		32
c. 血液病による眼底出血		32
4. 白 斑		33

2 目 次

a. 腎炎性網膜症	33
b. 妊娠中毒症	33
c. 網膜中心動脈塞栓症	33
d. 網膜中心動脈枝塞栓症	34
5. 色素斑, その他	34
a. 網膜色素変性症	34
b. 増田中心性漿液性網膜脈絡膜炎	34
c. 網膜剝離	34
C. 赤沈異常	磯貝行秀 36
1. 赤沈のメカニズム	36
2. 検査法	36
3. 正常値	37
4. 生理的変動	38
5. 赤沈の臨床的意義	38
a. 疾患活動性の指標	38
b. 貧血と赤沈	39
c. 原因不明の赤沈促進	40
d. 赤沈異常と悪性腫瘍	41
e. 赤沈値 100 mm 以上の症例	42
f. 腫瘍と炎症の鑑別	42
g. 赤沈の遅延	43
h. 赤沈と治療薬剤	43
D. 尿異常	馬場茂明 46
1. 検査材料としての尿	46
2. 正常尿の性状	46
a. 尿の一般的性状	46
b. 尿の化学組成	46
c. 生理的変動とその他の影響因子	47
3. 異常尿	48
a. 尿量の異常	48
b. 着色尿	49
c. 血尿	51

d. 血色素尿	52
c. 含窒素成分	54
f. 胆汁色素とポルフィリン	58
g. 糖 尿	61
h. 尿ケント体	63
i. 電 解 質	63
j. 酵 素	67
k. ホルモン	70
l. 尿 沈 渣	75
E. 便 異 常	佐古田雅弘 81
1. 性状からみた便異常	81
a. 便生成の生理	81
b. 便性状の異常	81
2. 病態からみた便異常	87
a. 下 痢	87
b. 便 秘	94
c. 交替性便通異常症	95
F. 胸 水	吉田清一 97
1. 胸水の発生機序	97
2. 胸水の識別	99
a. 胸水の貯留の様式	99
b. 理学的所見	99
c. 胸水のX線像	100
d. 胸水穿刺, 胸膜生検	105
e. 胸水穿刺の合併症	106
3. 胸水の生化学	106
4. 臨床症状	107
5. 呼吸機能障害	108
6. 胸水の病因別分類と鑑別診断	108
a. 水 胸	108
d. 結核性胸膜炎	109
c. 膿 胸	110

4 目 次

d. 癌性胸膜炎	110
e. 悪性リンパ腫	111
f. 肺炎に合併する胸水	112
g. 肺硬塞に合併する胸水	112
h. 横隔膜下膿瘍, 肝膿瘍に合併する胸水	112
i. 膠原病に合併する胸水	112
j. 真菌感染に伴う胸水	113
k. エオジン好性細胞に富む胸水	113
l. 乳 糜 胸	113
G. 腹 水	土屋雅春 119
1. 腹水をきたす疾患	119
2. 腹水生成機序	120
a. 局所性因子	121
b. 全身性因子	121
3. 腹水の診断法	121
a. 間接的診断法	121
b. 直接的診断法	112
c. 腹水量の推定	122
d. 腹水の性状	122
e. 穿刺腹水の検査室検査	123
H. 髄液異常	岡嶋 透 127
1. 髄液の機能および循環	127
2. 髄液圧の異常	127
a. 髄液圧の上昇	128
b. 髄液圧の低下	129
c. 髄液循環障害による圧の異常	129
3. 外観異常	129
4. 細胞増加	130
5. 蛋白の異常	130
a. 蛋白の増加	131
b. 蛋白の減少	131
c. 蛋白分画の異常	131

6. 糖量の異常	132
a. 糖量の減少	132
b. 糖量の増加	132
7. クロール (塩素: Cl) の異常	132
8. トリプトファン反応	132
9. 梅毒反応	132
10. 膠質反応	133
11. 主要疾患における髄液異常	133
a. 髄膜炎	133
b. 頭蓋内圧亢進を主徴とする疾患	134
c. 頭蓋内の化膿性炎症	134
d. 脳および脊髄の非化膿性炎症	134
e. 脊髄および末梢神経障害	135
f. 脳の血管性障害	135
g. 変性疾患	135
h. 中枢神経梅毒	135
I. 黄 疸	139
1. ビリルビン代謝	140
a. ビリルビンの生成	140
b. ビリルビンの血中での運搬	143
c. 肝におけるビリルビン代謝	143
d. 腸管腔におけるビリルビン代謝	144
2. 血清ビリルビンの定量	144
3. 黄疸の発生機序および分類	146
4. 抱合型ビリルビンの増量する黄疸	147
a. 尿ビリルビン	148
b. 尿ウロビリノゲン	149
c. 糞便中ウロビリノゲン	149
d. 血清酵素	150
e. 血清脂質	157
f. 血清蛋白の異常——血液凝固因子を含めて	157
5. 非抱合型ビリルビンの増加する黄疸	158

J. 血漿蛋白異常	河合 忠	169
1. 血清総蛋白量の異常		170
2. アルブミンの異常		171
a. 血清アルブミンの概要		171
b. 血清アルブミン濃度の測定法		171
c. 高アルブミン血症		172
d. 低アルブミン血症		172
e. アロアルブミン血症		176
3. グロブリンの異常		177
a. 血清グロブリンの測定法		177
b. 血清グロブリン異常の分類		178
c. 蛋白不足型血漿蛋白像		179
d. ネフローゼ型血漿蛋白像		181
e. 肝障害型血漿蛋白像		182
f. 急性相反応型血漿蛋白像		184
g. γ 分画広域増加型血漿蛋白像または多クローン性高免疫 グロブリン血症		185
h. M-蛋白血症型血漿蛋白像または単一クローン性免疫グロ ブリン異常症		187
i. β 分画増加型血漿蛋白像または高リボ蛋白血症		191
j. 妊娠型血漿蛋白像		192
k. 蛋白欠乏症		193
4. フィブリノゲンの異常		198
a. フィブリノゲンのおもな性状		198
b. フィブリノゲンの測定法		200
c. フィブリノゲンの代謝		201
d. フィブリノゲン異常の病態生理		201
K. 血清脂質異常	中村治雄	208
1. 肉眼的観察		208
2. リボ蛋白濃度・パターンの異常		209
3. コレステロール		211
4. トリグリセライド		213

5. リン脂質	214
6. 遊離脂肪酸	216
7. 脂肪酸構成	217
8. その他	219
血糖異常	溝口輝彦, 宮村 敬 221
1. 正常値	221
2. 高血糖をきたす疾患	223
a. 糖尿病	223
b. 膵組織の障害	226
c. 内分泌疾患に伴う異常	226
d. 肝疾患に付随する血糖調節の異常	229
e. 脳障害に随伴する高血糖	229
f. 侵襲に伴う高血糖	230
g. 治療薬と高血糖	230
3. 低血糖症	230
a. 臨床症状	230
b. 低血糖の病因の分類	231
c. 診断法	231
d. 自発性低血糖症	238
e. 膵外新生物に随伴する低血糖症	243
f. Spontaneous hypoglycemia with insulin-autoimmunity	244
g. 肝疾患に伴う低血糖	245
h. 新生児ならびに小児期にみられる低血糖	246
i. 抗インスリン系ホルモンの減少による低血糖	246
4. 反応性低血糖	248
a. グルコース飲用後の低血糖	248
b. 機能的(副交感神経緊張性)低血糖	249
c. 続発性低血糖	250
d. その他の反応性低血糖	251
M. 血清電解質異常	加藤暎一, 野本保夫 258
1. ナトリウム, カリウム, クロール	258
a. 測定法	258

b. ナトリウム.....	260
c. カリウム.....	263
d. クロール.....	265
2. カルシウム, リン, マグネシウム	267
a. 測定法.....	267
b. カルシウム.....	267
c. リン.....	271
d. マグネシウム.....	272
II. 内科学における情報処理	開原成允
1. 内科学を支える情報処理技術	281
a. 問診.....	281
b. 診断における情報処理技術の応用.....	282
c. 記録.....	283
d. 検査.....	287
e. 治療.....	288
2. 内科医を周辺から支援するための情報処理技術	289
b. 医学情報の提供.....	289
b. 疫学情報の収集.....	290
c. 救急医療.....	290
d. 遠隔地との医療コンサルテーション.....	290
III. 症候の情報とその処理	宮原英夫
1. 症候の医学的定義	295
2. 症候の検出とその特性	296
a. 問診.....	296
b. 診察.....	296
c. 臨床検査.....	298
d. 時間的变化.....	298
3. これまでの症候論の問題点.....	298
4. 症候の数量化	300
5. 症候の選択	300

a. 離散量の場合.....	303
b. 連続量の場合.....	305
6. 症候選択の必要性	307
7. 因子分析.....	308

IV. 自動測定装置とその応用

牧野秀夫

1. 自動機器の現況	315
a. continuous flow system.....	315
b. discrete system.....	317
c. centrifugal system.....	318
2. 応 用.....	319
a. 電解質プロフィール.....	320
b. 血漿蛋白プロフィール.....	321
c. 肝プロフィール.....	321
d. 腎プロフィール.....	322
e. 心および(筋)プロフィール.....	323
f. 血液疾患プロフィール.....	323
g. 骨プロフィール.....	324
h. 糖尿病プロフィール.....	324
i. 浮腫プロフィール.....	324

索 引.....	327
----------	-----

Plate	(32')
-------------	-------

小脳腫瘍によるうっ血乳頭旺盛期(図1)/Keith-Wagener 第1~Ⅳ群
(図2~5)/糖尿病性網膜炎・第1~4期(図6~9)